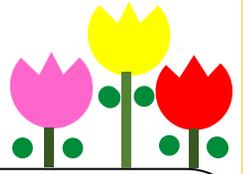


# 周布公民館だより

## 高3 日野 姫花李



令和8年 3月号 第400号

〒799-1371西条市周布1281-1  
電話・FAX：0898-68-7030 E-mail：shu-k@saijo-city.jp

周布地区の人口1月末現在  
(前月比)

|     |         |        |
|-----|---------|--------|
| 男   | 1,771人  | (-15人) |
| 女   | 1,917人  | (+1人)  |
| 計   | 3,688人  | (-14人) |
| 世帯数 | 1,800世帯 | (-2世帯) |

### こどもランド・リースづくり



どんな感じにしようかな?

上手につくれたよ!



お母さんと仲よく作業♡

見て~!!できたよ~



楽しかったね☆



いつも参加してくれてありがとう♡



2月14日(土)のこどもランドでは、グルーガンを使ってリースづくりをしました。春らしいかわいいリースが完成しました。

新年度のこどもランドも楽しい教室をたくさん計画しています。また4月になったら、忘れずに登録してくださいね。



読み聞かせ中♪



ステキなリース完成✦

## ～毎月10日は人権を考える日～

出典：松山地方法務局・愛媛県人権擁護委員連合会主催「第44回全国中学生人権作文コンテスト」  
愛媛県大会 最優秀賞（松山地方法務局長賞）（松山地方法務局ホームページ）

### 受け入れること

西条市立小松中学校 2年 畑中 希心

僕は難聴だ。この障がいで、悲しい出来事もたくさんあった。それでも今、みんなは難聴の僕を受け入れてくれている。僕は、生まれつき音が聞こえない。生まれてすぐは乳を全然飲まず、死にかけたらしい。ようやく乳を飲むようになった後、僕は耳が聞こえないのだと親は医者から聞かされた。母はショックで、とても悲しんだ。それでも、僕を幸せにしようと、一歳二か月の時に右耳、一歳六か月の時に左耳の手術をして、人工内耳というものを付けた。それで、音が聞こえるようになった。とても不思議だった。なぜ、障がい者である僕を幸せにしようとしてくれるのか。でも、そのことを両親には聞けなかった。そうして、僕は松山聾学校の幼稚部という難聴のための幼稚園に入学し、卒業後は地元の小学校に入学した。みんなと初めて出会った場所だ。

みんなは僕のことをとても不思議そうに見てきた。だけど、すぐに仲良くなった。けれど、友達と呼べるほど仲良しになれる人はいなかった。そして、何か月か過ぎると、一人、また一人と離れていき、僕はとうとう一人ぼっちになった。とても悲しかった。もっとみんなと話したい。けれど、話したら嫌われそうだという気持ちが強かった。だから、担任の先生と話したり、本を読んだりして過ごすことが多くなった。正直、寂しかった。ただ家では、オンラインゲームで楽しく過ごすことができた。僕の心の休けい所だった。

五年生になったある日、オンラインゲームのチャットで、「僕、実は難聴なんだ。」と思い切って言った。すると、「難聴は帰れ。と心ない言葉を投げられた。その後も「障がい者は要らない。」「とっとと消えて！」など、残酷な言葉をいくつも投げられた。そして、ついには仲が良いと思っていた人からも悲しい言葉を投げられ、いじめられた。とても辛くて、悔しかった。大切な人に裏切られ、たまらなかった。障がい者として生まれたことを僕は憎んだ。

最悪の気持ちがしばらく続いた。でも、ネットでいじめられたことや難聴という障がいについて、みんなに知ってもらいたい、だまっちはいけないという気持ちの方が強くなっていった。それで勇気を出して、別のオンラインゲームで、再び「難聴だ。」と打ち明けた。すると、仲の良い人たちから、「どうして早く言ってくれなかったの。」となくさめられた。こんな自分を受け入れてくれる人がいると思うとうれしかった。救われた思いがした。そして、もっと多くの人に難聴のことを知ってほしいと思うようになった。だから、小学校でも勇気を出してみんなと話すようにした。すると、そのうち友達と思える人ができ始めた。毎日の学校が楽しくなった。

僕は、小学校を卒業し、中学校に入学した。そして、他の小学校の生徒とも一緒になった。少年自然の家や体育大会などの行事で、心配事はいろいろあった。でも、みんなのサポートがあり、楽しく過ごしたり練習したりできた。みんなは僕のことを受け入れてくれていると安心している。

けれど、まだ不安が心の底にある。また、いじめられるのではないかとこの心配が、心の中から消えない。僕はおそろおそろ友達に聞いてみた。

「なぜ、僕を大切にしてくれるの?」と。

すると、

「君は友達だから。難聴だったとしても、それ以外は同じだから。」

と言ってくれた。その言葉で、今まで僕に関わってくれた家族や大人たちが、なぜ可愛がってくれたり、怒ってくれたりしたのか、疑問が全て解けた気がした。僕は、自分を健常者とは別の、違う存在のように感じていたが、家族や大人は、同じ子どもとして、対等に見て接してくれていたのだ。心の底から感謝し一人で涙を流した。

僕は今、普通に生活を送っている。家族がいて、友達もいる。だけど、難聴という他の人とは少し違う生活を送っている。不便なところはあがあるが、それ以外は何も変わらない。

人はみんな、それぞれ人権を持っている。人権は、この世の中で、人らしく幸せに生きる権利だ。健常者の人たち、難聴者の人たち、他に障がいのある人たち、人権はみんなに平等に与えられている。それなのに、少しの違いを理由に、受け入れなかったり、いじめたりして奪ってはいけない。障がいがあっても同じ人間なのだ。それぞれの個性を受け入れて認め合うことで、みんなが幸せになれる。もし困っている人がいたら、こう言いたい。「みんな同じ人間だ。だから、胸を張って前を向こう。」

僕は、これからも明るく幸せに生きていきたい。



# 3月の行事予定



| 日                          | 月                   | 火           | 水  | 木          | 金  | 土                    |
|----------------------------|---------------------|-------------|--|------------|--|----------------------|
| 1<br>休館日                   | 2<br>もえないごみ<br>乾電池  | 3<br>もえるごみ  | 4<br>古紙  | 5          | 6<br>もえるごみ   | 7<br>休館日             |
| 8<br>レクバレー大会<br>館長杯<br>休館日 | 9<br>もえないごみ<br>乾電池  | 10<br>もえるごみ | 11<br>ガラスびん<br>ペットボトル<br>スプレー缶                         | 12<br>歌声喫茶 | 13<br>もえるごみ  | 14<br>休館日            |
| 15<br>休館日                  | 16<br>もえないごみ<br>乾電池 | 17<br>もえるごみ | 18   | 19         | 20<br>もえるごみ<br>春分の日<br>休館日                           | 21<br>花ボランティア<br>休館日 |
| 22<br>休館日                  | 23<br>もえないごみ<br>乾電池 | 24<br>もえるごみ | 25   | 26         | 27<br>もえるごみ  | 28<br>休館日            |
| 29<br>休館日                  | 30<br>もえないごみ<br>乾電池 | 31<br>もえるごみ | ↓花ボランティア↓<br>3月21日(土)8:30~<br>場所:周布小学校<br>※どなたでも参加できます |            | 移動図書館カワセミ号<br>3月14・28日(土)<br>14:20~14:50<br>場所:周布小学校 |                      |

## タウンミーティング



1月27日(火)周布公民館においてタウンミーティングが開催されました。テーマ「安全・安心な周布地域をつくっていくために」地域の現状と課題について活発な意見交換が行われました。



## 敬老の家事業(2回目)



2月12日(木)に敬老の家(2回目)を開催しました。今回は、館外に出での開催でした。民生委員さんとも交流でき、近況報告しながら和やかなひとときを過ごすことができました。

あたたかな日差しの中、鯉のえさやりにはしゃいでみたり、春の訪れを感じながら庭園を散策したり、皆さん楽しく過ごしていました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



三二作品展

小三  
塩崎まき  
のう  
林め

小五  
越智さくら  
む風  
時や

小六  
塩崎快  
小谷  
鳥の

中二  
近藤優芽  
白屋  
く根

周布 絵手紙グループ



～「レモンハート」コンサートのご案内～  
♪みんなで歌おう 青春のメロディー♪

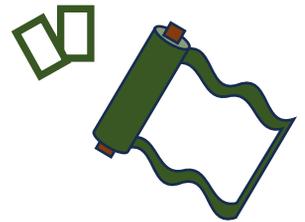
○日 時：3月14日(土)午後1時30分から  
○場 所：周布公民館 2階会議室  
○参加費：無料 どなたでも参加できます  
爆発的人気のレモンハートさん!懐かしいフォークや演歌  
など皆さんお馴染みの曲を生演奏と歌で盛り上げてくれ  
ます。楽しいトークもお楽しみに!  
主催：地域住民グループ「糸」

川柳 石鋤吟社

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 顔洗いすつきりしたよ寒い朝      | 篠森恵美子 |
| すつきりと歩く姿勢若若し       | 一色由美子 |
| たっぷりの睡眠スツキリした頭     | 菅 伊佐子 |
| 断捨離してすつきりしたい思うだけ   | 佐山 富子 |
| 誤解とけ気分すつきり夫婦仲      | 高橋美代子 |
| やっとなすつきり掃除機後の老いの部屋 | 一色つかさ |

～令和8年度～  
古典講座受講生募集

- ◇日時 令和8年4月から令和9年3月まで  
毎月おおむね第1土曜日 13:30～15:30  
(初回は4月4日)
- ◇場所 西条市佐伯記念館・郷土資料館  
西条市丹原町池田1711-1  
(TEL 0898-68-4610)
- ◇内容 『百人一首』
- ◇講師 武田 眞 氏
- ◇定員 60人(先着)
- ◇受講日 開講日にお知らせします。  
(年3000円程度)  
その他 テキスト料(実費:800円程度)  
お持ちの本で代用できます。
- ◇受付期間 2月7日(土)～3月13日(金)
- ◇提出先 西条市佐伯記念館・郷土資料館
- ◇問合せ 090-4336-3070(黒川)



※後援：西条市教育委員会